



おもしろ国めぐり

りました。先生が、「名前を教え
てあげなさい」と言ったので、わ
たしは、びつくりしました。わた
しは思わず、「わたなべあやこ」
と名前を小さな声で言いました。
とてもはかしかかったので、下を
向いてしまいました。向こうの人
も先生に名前を聞かれた時はすか
しそうなので同じだと思いました。
(中略)

みんなでいろんなことをすると
きに、ボールをひろってあげたり
やり方を教えてあげたりしました。
わたしがよそ見をしていたら、養
護学校の人がどこかへ行つてしま
うことがありました。わたしはあ
わててさがしに行きました。見つ

けて手をつないでつれてきました。

(中略)

へい会式が終わつて、みんなでバ
スに乗りました。朝会つた時には
はずかしかつたけれど、ゲームを
いっしょにやったり遊んだりした
ので、はずかしくなくなりました。

(中略)

養護学校の人達のなかには、か
らだの不自由な人がたくさんいま
した。交歓会の前の日は、からだ
が不自由な人と遊んだりするのが
いやだな、なんて思っていたけれ
ど、終わつてみるといやだったなん
て思いません。それは、たぶん楽
しかったからだだと思います。

(三)

保護者の意識(熊倉小)

- ① 交流がなされ、子どもと同様に
思いやりの心を認識させられた。
- ② 障害児の人々は、心が澄んでい
て、素直であることが理解できた。
- ③ 養護学校との交流で、子どもか
ら話を聞き、障害児であつても精
一杯がんばっている姿を聞き、他
人への思いやりや、いたみをわか
つてあげようとする気持ちが育つ
たことを嬉しく思います。
- ④ 同じ人間に生まれながらかわい
そうと思つていたが、私たち大人
も子どもたちの暖かい心を育てる
だけでなく、現実の行動として社
会生活の中で生かしていきたいと
思います。
- ⑤ 保護者(熊倉小)の感想文
去る九月二十六日、西郷養護学
校と熊倉小学校の交歓会に参加さ
せていただいた生徒の母親です。
養護学校については、同村にあ
りながら全く無知でした。学校か
ら要請があつた時は、多少の不安
と正直言つて好奇心のようなもの
も手伝つて承知した次第です。
(中略)
- ⑥ 本校PTA役員の感想
元気で活発な熊倉小の子どもた
ちと明るく屈託のない本校の子ど
もたち、最初はどことなくごち
ないやりとりにも感じられました
が、大信村運動公園で一緒に楽し

(中略)

慢然と参加し、色々なものに出
合い、そこから得ることも子ども
の場合多くあると思います。養
護学校の皆さんは、目的をきちん
ととらえている様子が感じられま
した。(中略)

学力や競争のみが重視されるよ
うな社会の中で、子どもを見る目
もそのみで評価してしまいがち
な自分が恥ずかしくもなりました。
(中略)

それまで障害者については、意
識の外にあつたものが、今回参加
させていただき、障害者は決して
社会のワクからはみ出しているの
ではなく、共に生活している一員
であるということを確認しなけれ
ばと思ひました。

本校PTA役員の感想
元気で活発な熊倉小の子どもた
ちと明るく屈託のない本校の子ど
もたち、最初はどことなくごち
ないやりとりにも感じられました
が、大信村運動公園で一緒に楽し

くゲームに興ずる頃には打ちとけ
たふんいきに移っていききました。

(中略)

このような交流の機会がより多
く重ねられる事により、健常児の
障害児に対する異和感がなくなる
のではなからうか。初めて握手を
する時、とまどいを見せた熊倉小
の児童も交流が深まるにつれ、本
校の児童がけつして特別ではなく、
自分たちより心や身体が弱だけ
だと気付いてくれたはずです。(中
略)

この活動をきっかけに交流教育
の輪がより広がる事を役員の一人
として願つております。

⑦ 地域協力者(熊倉小)の感想

養護学校の児童の活動範囲の広
いことには、全く驚かされました。
本校の児童が自分の任務を全うす
るために必死に追いかけ廻つてい
る真剣な表情には本当に感激いた
しました。(中略)

あの養護学校の児童の懸命な姿、
子どもと一諸に行動をする先生方、
子どもなりにか弱い者への「いた
わり」を持つてリードしようとし
る児童。私たち三名だけの感激で
は本当にもつたないと思ひまし
た。他の方々にも是非この感激を
味わつて欲しいと心より思ひまし
た。(中略)

今後このような企画をどんど
ん持つて欲しいと思ひます。そし